



株式会社

健康食品・化粧品のOEM(受託製造)、委託メーカー

AFC-HD アムスライフサイエンス

第31期(平成23年8月期)株主総会資料

(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

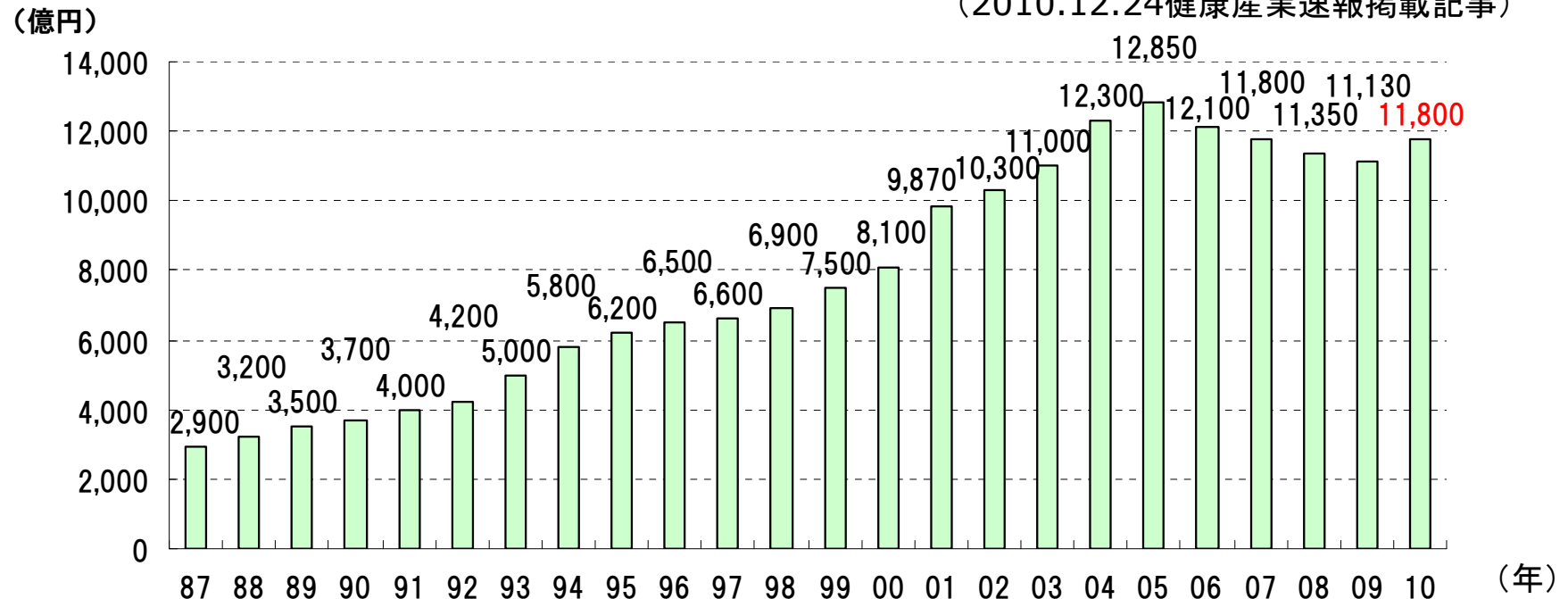


www.ams-life.com

AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd.

健康食品市場推移

(2010.12.24健康産業速報掲載記事)



健康産業速報は、「同紙の調査において2010年健康食品市場規模が**前年比6.0%増**の1兆1800億円となり、**5年ぶりにプラスに転じた**。先行きの不透明感から消費者が支出を抑制する中、自治体、総務省、通販協等各種調査においても市場の回復傾向が顕著に示されており、特に**通販が7.9%増**と市場を牽引している。」と報じました。

健康食品市場は、生活者の健康志向により景気に左右されにくいことが数字でもあらわれています。

決算報告

第31期 グループ指針「飛躍」



連結決算の状況

連結業績比較表 (直近3期間)

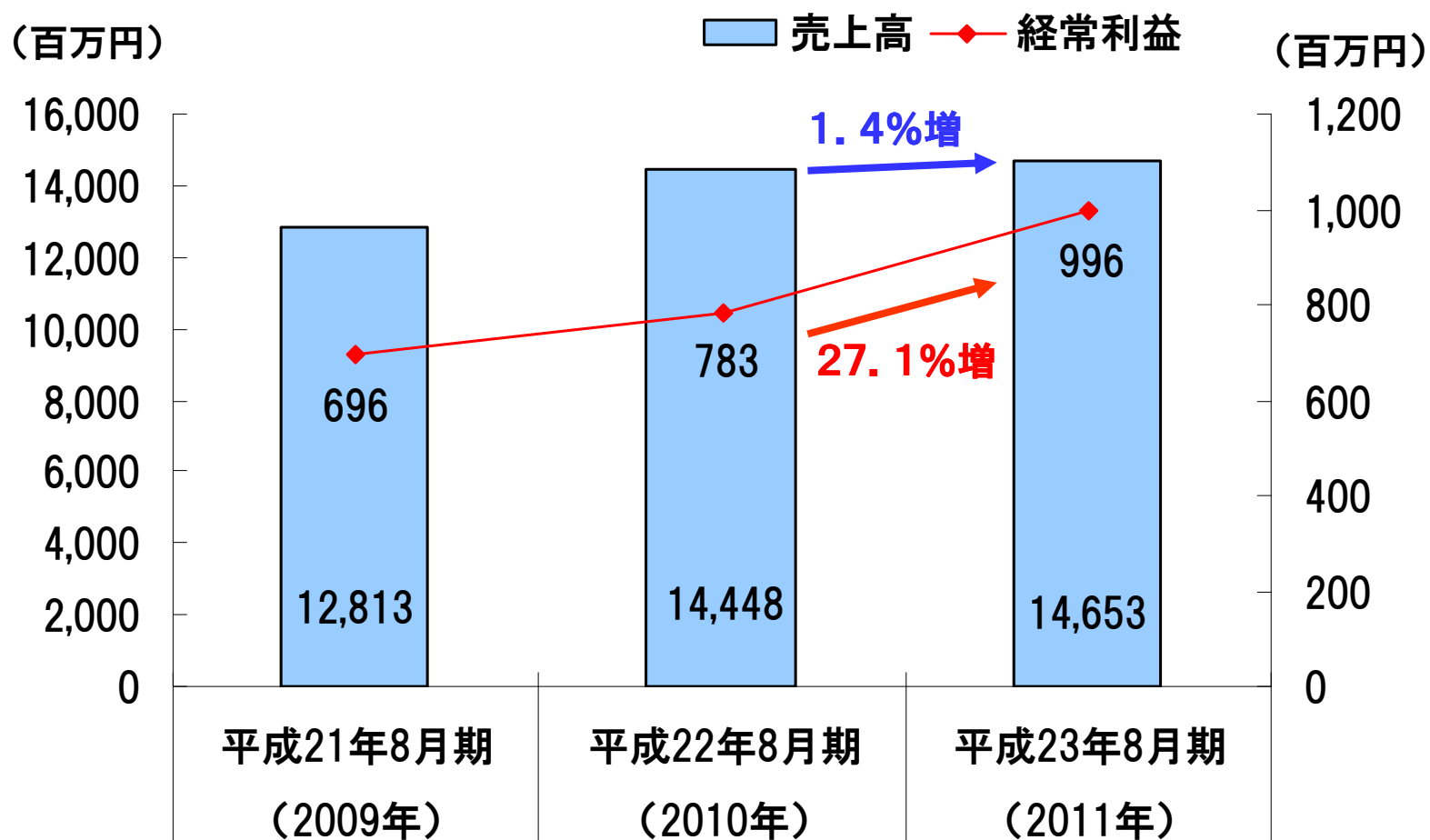
(単位:百万円)

連結	(2009年) 平成21年 8月期実績	(2010年) 平成22年 8月期実績	(2011年) 平成23年 8月期実績	対前期 増減率
売上高	12,813	14,448	14,653	1.4%
営業利益	737	767	1,024	33.5%
経常利益	696	783	996	27.1%
当期純利益	129	195	490	151.3%
経常利益率	5.4%	5.4%	6.8%	-

増収要因: **OEM部門の好調**(前期比19.7%増)

増益要因: 自社製品販売構成比率向上などにより、売上総利益 前期比3.5%増
販売費及び一般管理費の減少(前期比1.6%減)

連結 業績推移



連結 資産の状況

(単位:百万円)

	(2010年) 平成22年8月期	(2011年) 平成23年8月期	対前期増減
資産合計	13,856	17,939	4,082
内訳 流動資産	6,769	8,249	1,480
固定資産	7,087	9,689	2,602
負債合計	8,765	12,481	3,716
内訳 流動負債	5,776	6,594	817
固定負債	2,988	5,887	2,899
純資産	5,091	5,457	366

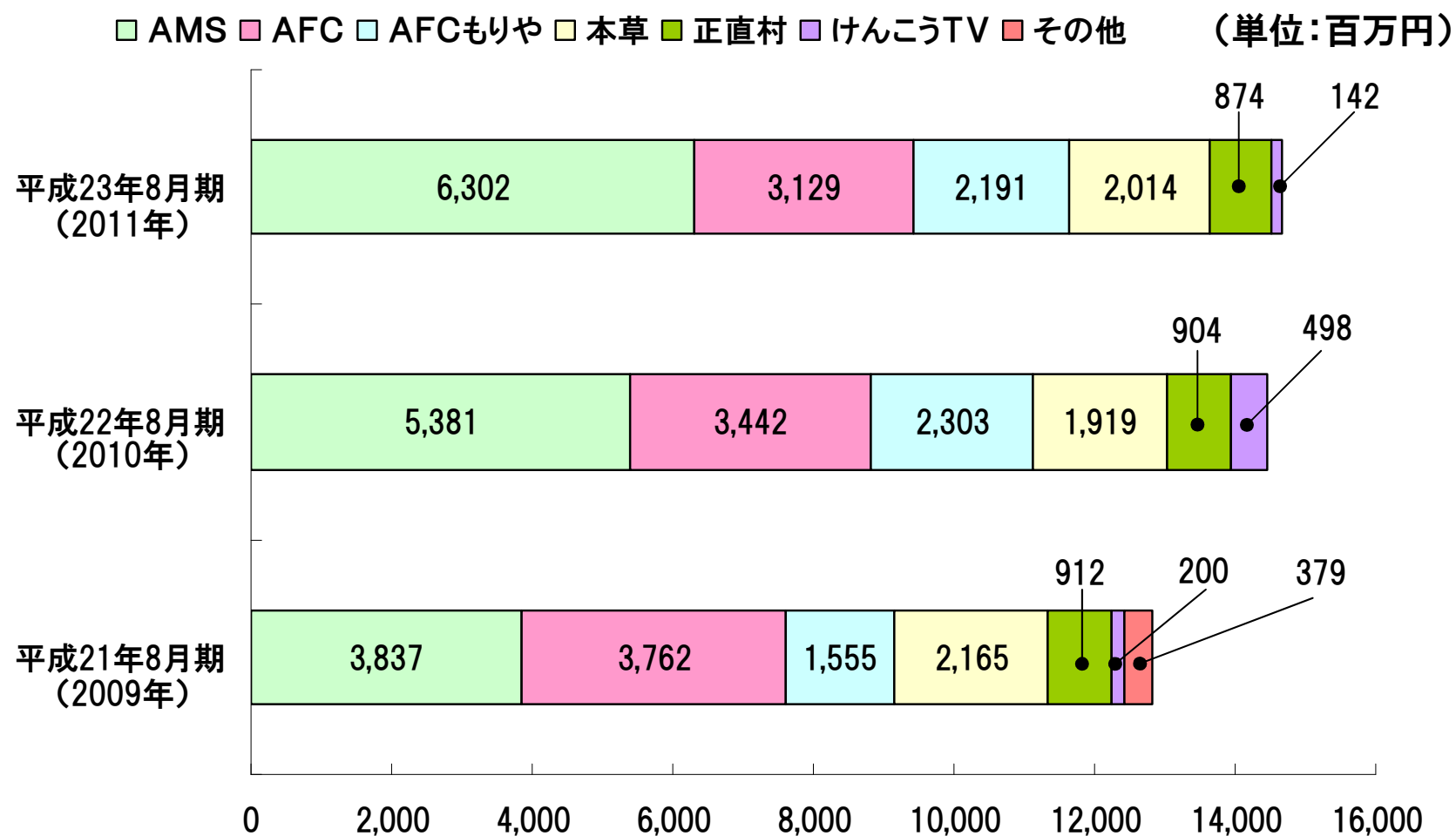
資産:現金及び預金の増加、及び国吉田工場の完成により、前期比4,082百万円増加

負債:国吉田工場建設に伴う借入金により、前期比3,716百万円増加

純資産:当期純利益からの計上で、前期比366百万円増加



グループ売上構成比





AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

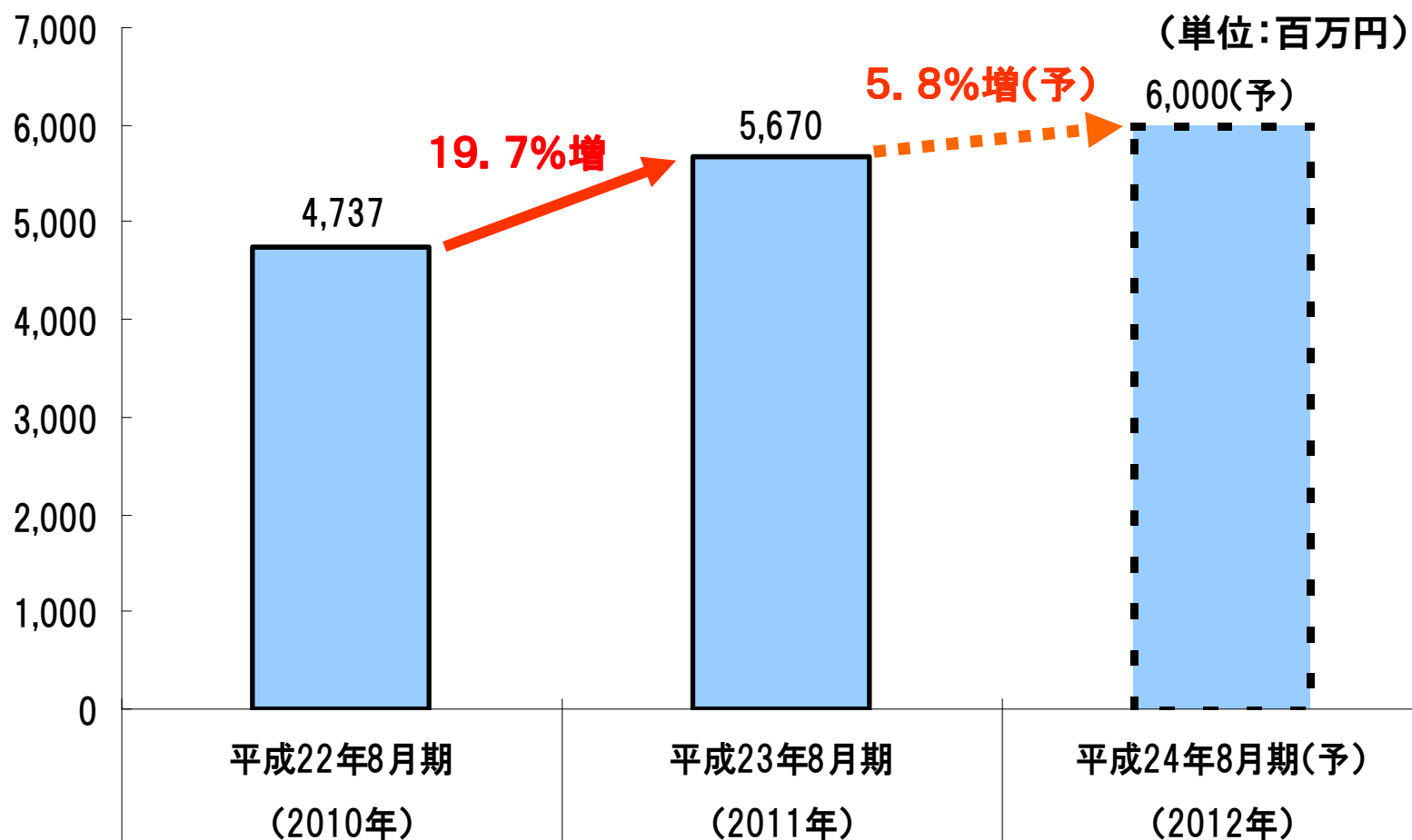
事業報告と今期取組

第32期 グループ指針「結束」「挑戦」





AFC-HDアムスライフサイエンス OEM事業 売上高推移





AFC-HDアムスライフサイエンス OEM事業 報告・取組

平成23年8月期

- 既存顧客との取引安定化
- 大口取引の増加
- 工場の稼働率アップ

秤量前期比

打錠	119%
ハードカプセル	120%
ソフトカプセル	110%

- 人材の育成

【背景】

- 顧客ニーズに即時対応可能な管理体制
- ベーシックな素材を主力商品としている企業への営業強化

平成24年8月期

- 新工場稼働に伴い、さらなる大口取引の獲得
- 既存商品のロット数アップ
- スピードに注力した効率的な生産活動
- 徹底した衛生・品質管理の継続
- 人材の育成



AFC-HDアムスライフサイエンス 平成23年8月 国吉田工場竣工



高層棟7階・低層棟2階

敷地面積 約13,835㎡

延床面積 約10,599㎡

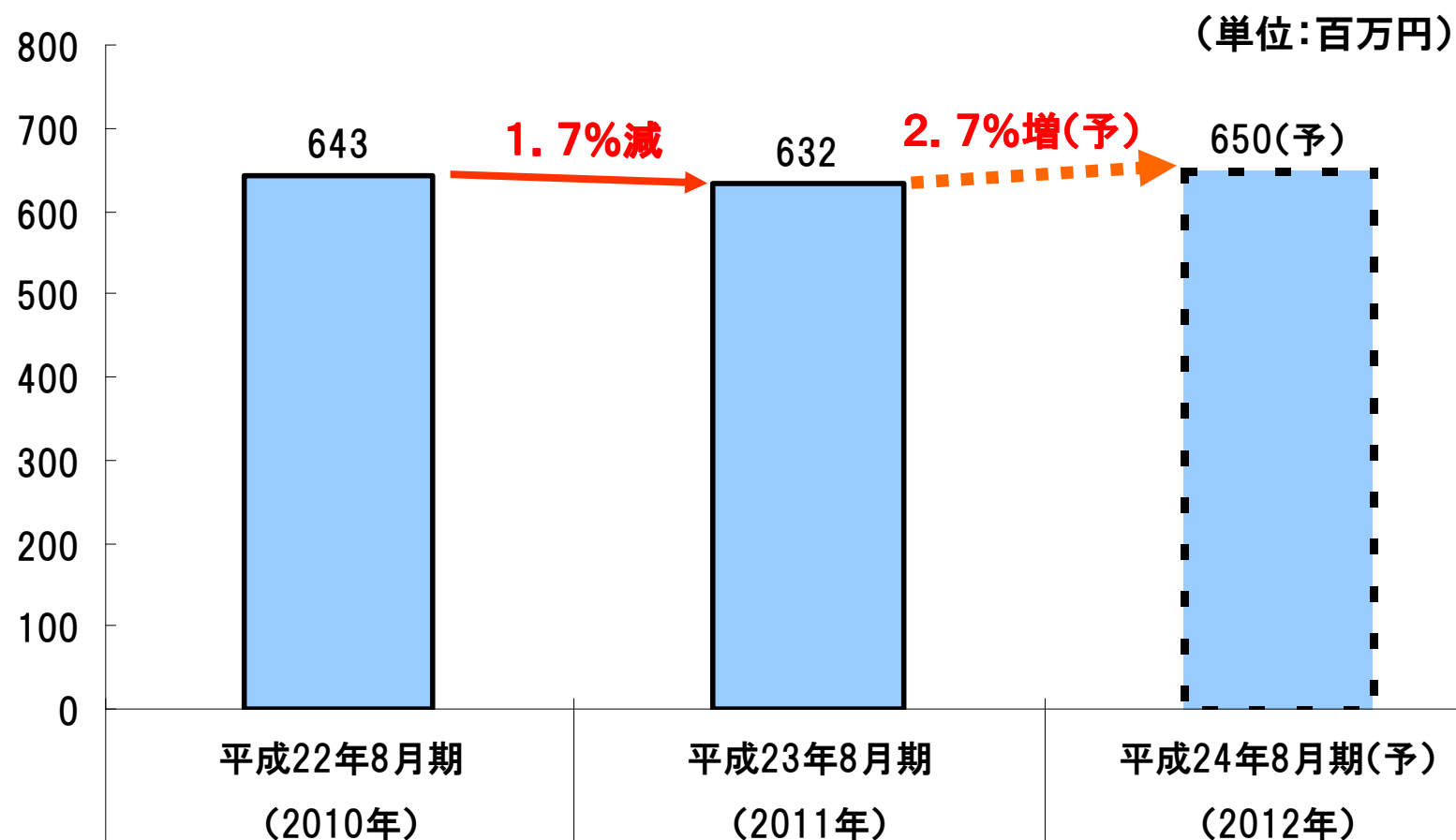
- ・生産ライン見学通路の設置
- ・コールセンター受注業務の拡大を見据え、7階に事務フロアを完備
- ・建物構造においても、衛生面に配慮した設計
- ・短納期で大量生産可能
- ・津波浸水想定地域外の内陸部に位置

大ロット製造に適した機械設備類の導入完了

総合生産能力は現在の約2倍まで引き上げ可能



AFC-HDアムスライフサイエンス 国際部 売上高推移





AFC-HDアムスライフサイエンス 国際部 報告・取組

平成23年8月期

- カラーゲンドリンク販売好調
- 新規OEM取引先の開拓
ベトナム1件、香港1件
- 韓国での販売チャネル増加
インターネットに加え、百貨店等
の専門店

しかしながら、

- 欧米製品や現地製品
に対する競争力低下
- 既在の台湾代理店
への売上が減少
- 原発事故による風評被害の影響
(中国全土で輸入禁止措置)
- 放射能検査費用の発生

円高の
影響

平成24年8月期

- 台湾代理店の立て直し
- ベトナム代理店との安定した取引と拡大
- 新規OEM取引先の開拓・獲得
- 韓国・中国へのOEM営業強化

【対策】

- *円高による利益の圧迫
- *原発事故の風評被害

2011年9月
販売子会社3社を統合

健康食品・化粧品の通信販売・卸売
(株)エーエフシー

↑ 吸収合併

健康食品・自然食品・自然化粧品・医薬品・医薬部外品・一般食品の小売・卸売

(株)AFCもりや

自然食品の小売・卸売

(株)正直村

AFCブランドの営業・販売体制を強化

営業統括本部

通販事業部

流通事業部

百貨店事業部

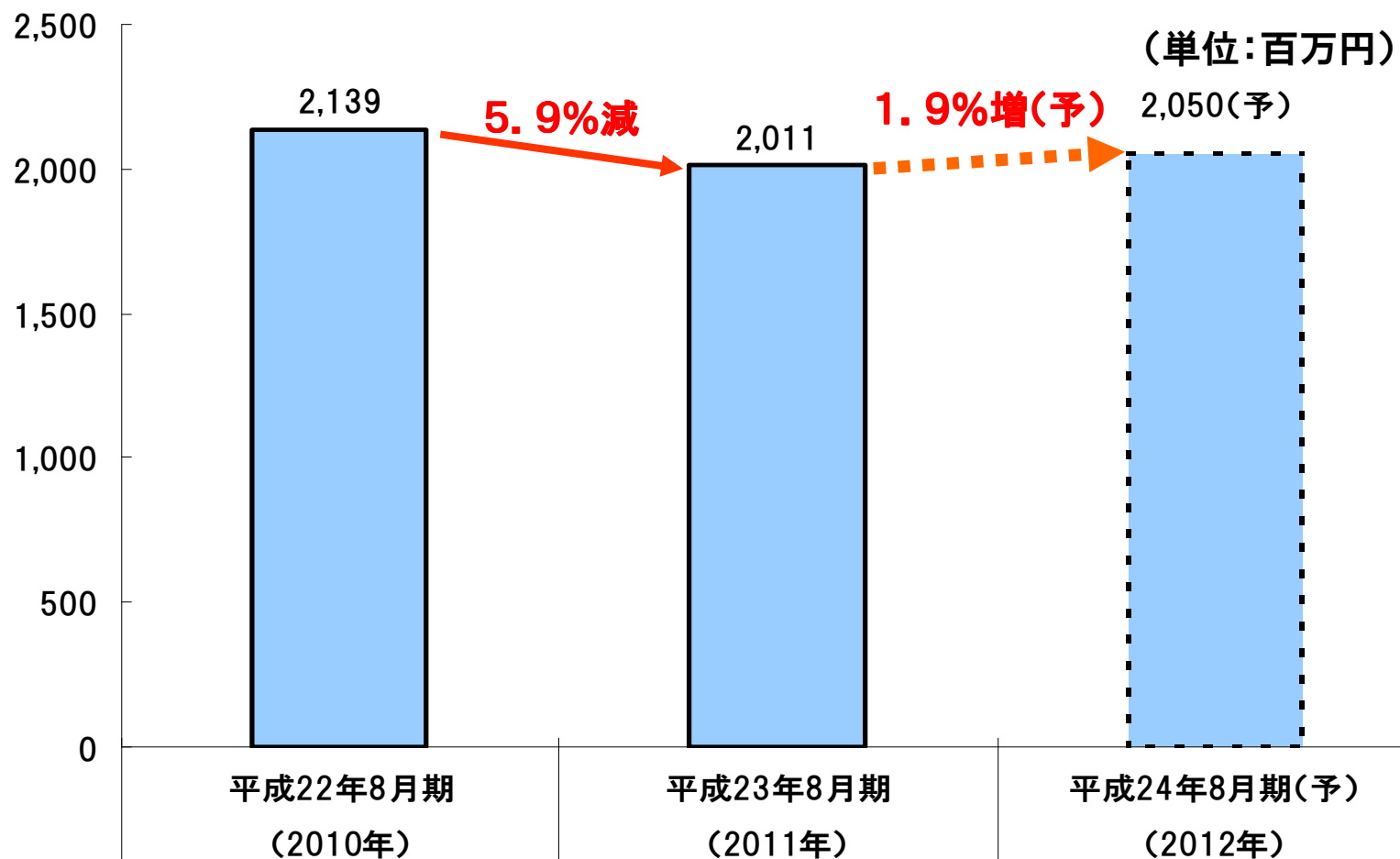
2011年5月ロゴマーク変更



新ロゴマークは、お客様とのハートのお付き合い、誠心誠意の姿勢に加え、無限の可能性と永遠の愛を表します。



エーエフシー 通販事業部 売上高推移



平成23年8月期

- 人気・定番サプリメントのお試し用サイズの商品化
- TVショッピングの反応が高い放送枠の積極的な使用

新規顧客数(前期比142%増)

しかしながら、

- お試しシリーズ導入により、購入単価が低下
- 震災直後の物流網の混乱の影響を受ける
- リピート率の低迷
- 広告・宣伝費の増加

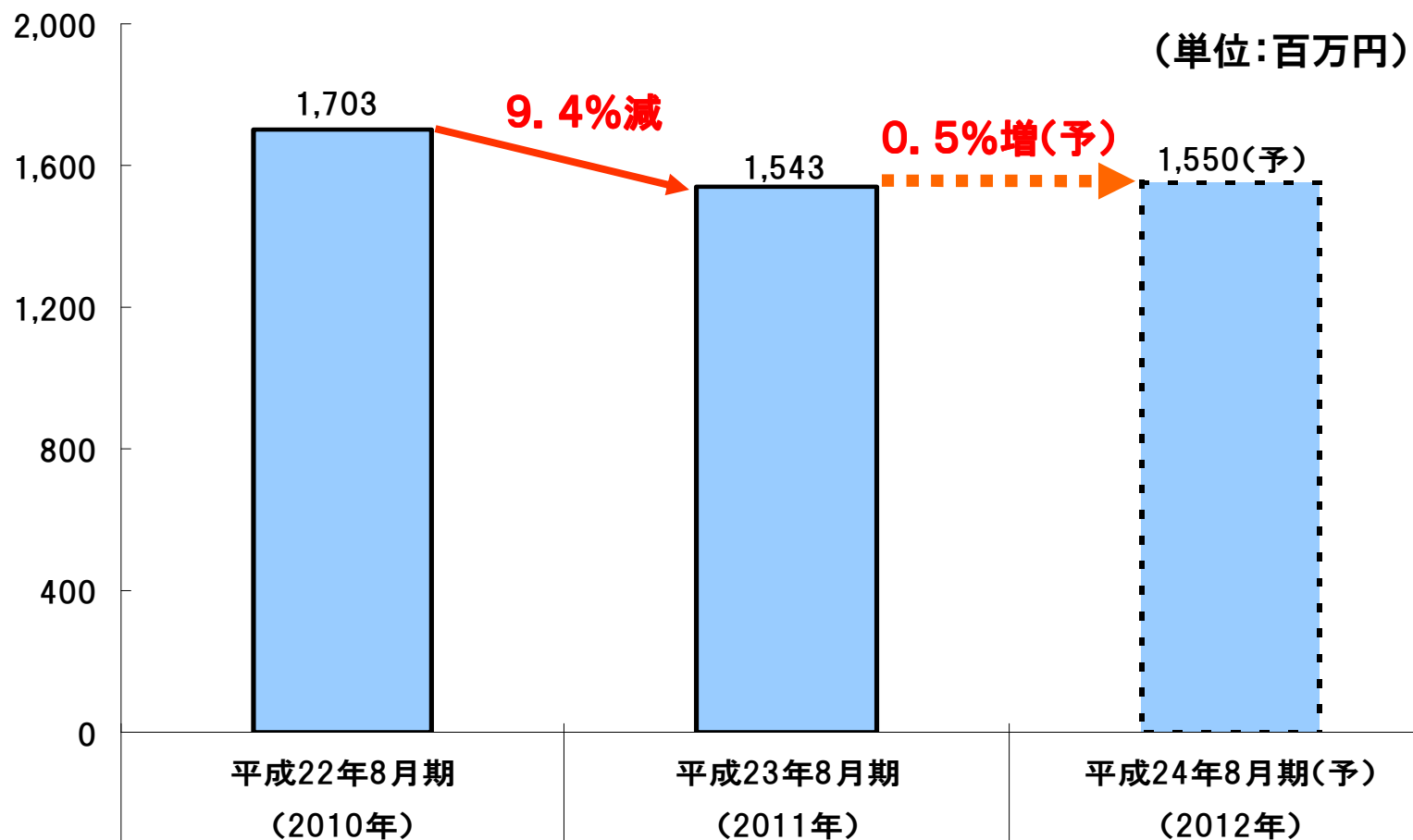
↓
減収・減益

平成24年8月期

- 百貨店との通信販売業務の確立
- 視聴者反応の良いTVショッピング番組制作
- 広告効率の高い折込チラシの開発
- 新聞広告による新規顧客獲得件数の復活
- リピート率アップに向けた戦略の検討



エーエフシー 流通事業部 売上高推移・報告



※合併3社の卸事業部合算

平成23年8月期

- 市場ニーズに合う新商品の投入
- 卸問屋主催展示会への出展
- 有名店舗での映像POP設置
しかしながら、
- 震災の影響による消費者の買い控え
及び、テレビ通販の放送自粛
- 利益率の低い商品の販売中止

減 収

- 不採算商品の販売中止により粗利益
率が改善
- 販管費の圧縮

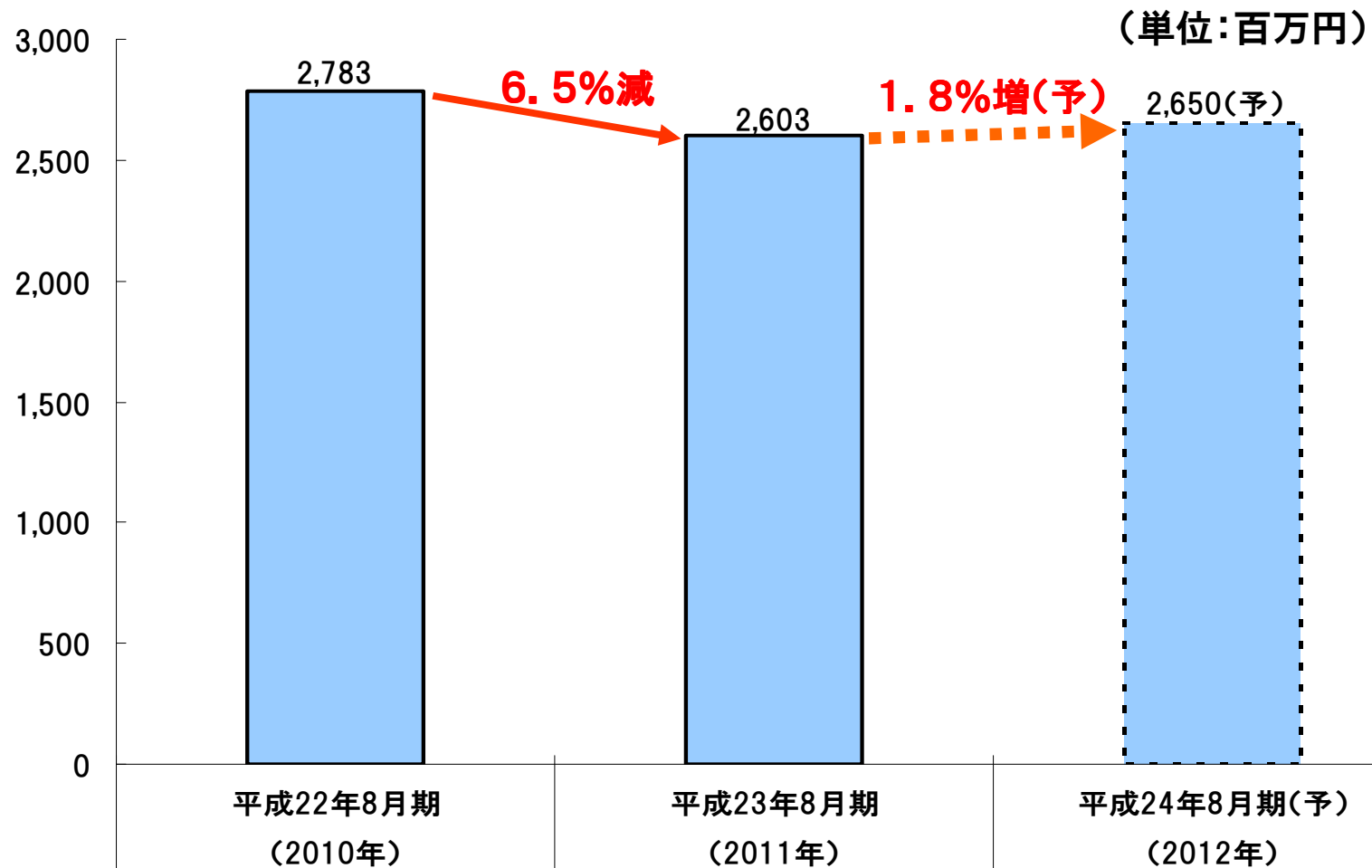
利益の改善

平成24年8月期

- 百貨店外商部門の開拓
- 化粧品関連商品の強化
高級健康美容素材の販売着手
ビューアベックシリーズ、美魔女
シリーズ、爽快柑シャンプーの
拡販。
- ブランド認知度向上



エーエフシー 百貨店事業部 売上高



※合併3社の店販事業部合算

エーエフシー AFC 百貨店事業部 売上高推移・取組

平成23年8月期



- 自社製品売上シェアの増加により粗利益率が大幅に改善
(平成22年8月期30.4%→平成23年8月期36.9%)
- 百貨店専用自社製品掲載会報誌の発刊
- プラセンタ加工品の好調
- 業績変動型報酬制度導入により、労務費が減少

営業損失から脱却

平成21年8月期△308百万円→平成23年8月期0百万円



- 高島屋港南台へ出店(平成23年9月3日)
- 新商品の積極的な投入
しかしながら、
- 東日本大震災の影響
直接的及び計画停電による休業

平成24年8月期

- 百貨店専用自社製品掲載会報誌
20万部発行



- 通信販売、店舗販売を融合させた新組織の立上げ
- 新規出店

* 遠鉄百貨店(浜松市)へ出店

もりや店舗数	61
正直村店舗数	13
合計	74

平成23年9月末現在

中長期目標:100店舗(納品店舗含)

エーエフシー 新規事業への取組

TVショッピングのイノベーション

<TV局>

- ・放送枠の提供
- ・番組制作

<AFC>

- ・製造メーカー、販売会社としての経営資源
- ・受電・物流システム活用、売上管理業務

(多チャンネル時代の新ビジネスモデル)

TVショッピングのOEM化事業

TV局(地域)	開始日	番組名
静岡だいいちテレビ	2011年 9月 4日～	○ごとげんきナビ
京都放送	2011年10月11日～	ぼじポジたまご



《静岡だいいちテレビ》

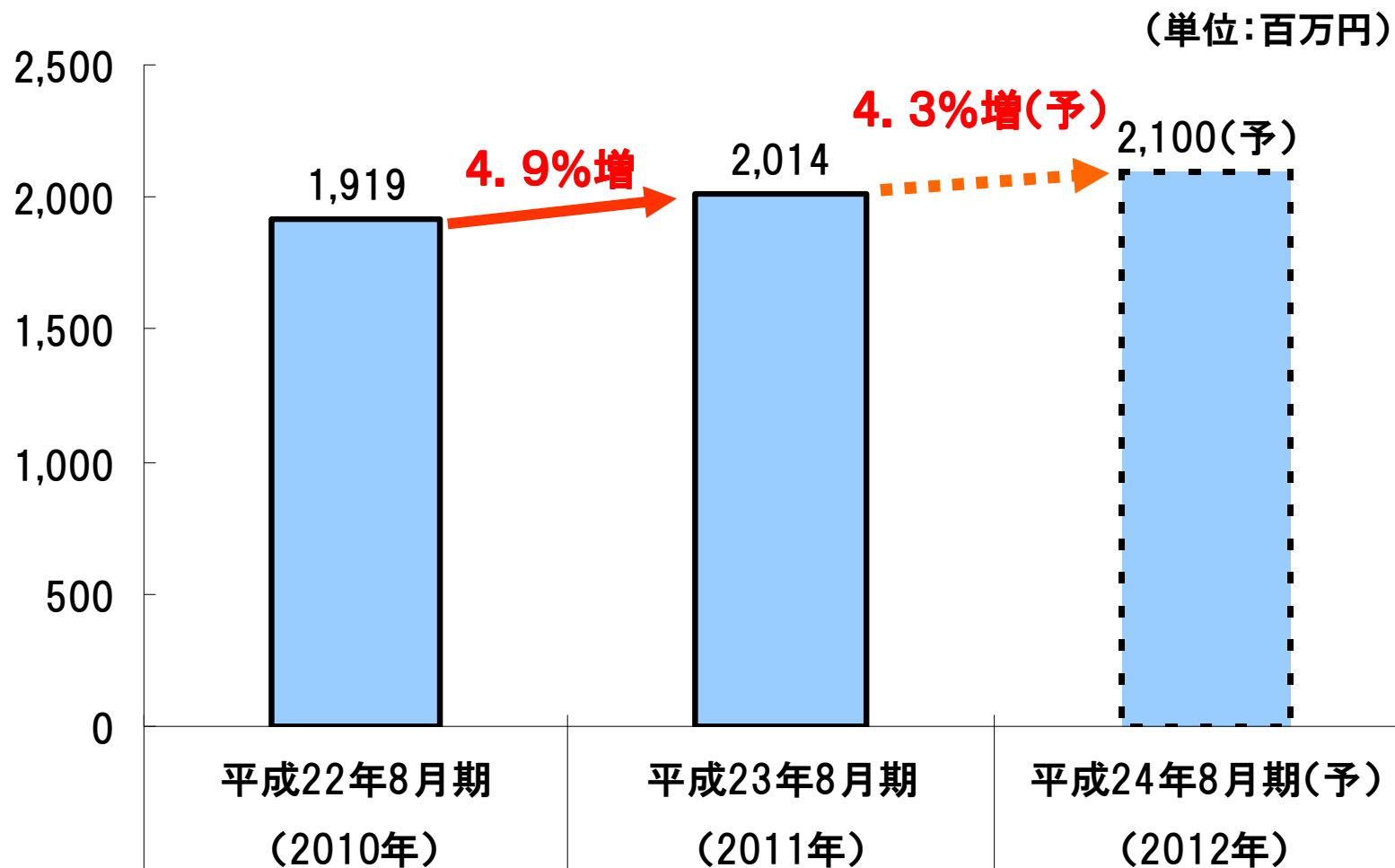


《京都放送》

- TVショッピング イノベーション
テレビ局が自社の電波を使ってショッピング番組を制作するTV界では画期的な出来事です。
- AFCの経営資源を最大限活用いたします。
製造メーカー、販売会社、AFCコールセンター、AFCロジスティック(物流)、売上管理業務(集金・決済)等、業務全般を請け負います。
<TVショッピングのOEM化事業>です。

本草製薬

本草製薬 売上高推移



平成23年8月期

- 医療用漢方製剤について

- ①同業大手との効能・効果の同質性
- ②同業大手よりも患者負担が小さいこと

医師・薬剤師に浸透

- メタボ関連製品「防風通聖散」、及びしょうが紅茶」の販売好調

- 医療機関限定販売「ドクターズサプリメント」の浸透

売上金額2,014百万円を達成

(前期比4.9%増)

平成24年8月期

- 初自社ブランド、降圧剤の後発医薬品の承認取得予定(医療用医薬品)

- 新製品・取扱い商品の拡充(一般用医薬品)

- 生薬末(粉・刻み)の販売

- 輸入原料の販売



けんこうTV 報告・取組

平成23年8月期

戦略を外部企業との取引拡大からグループ会社の広告強化体制に切り替え

- 外部企業との協賛型TVショッピング事業の中止に伴い、不採算放送枠の大幅な削減、グループ外売上は大幅な減収となる

一方、グループ会社向けの取り組み

- 放送時間帯、各視聴者層に即した商品投下によりCPO※の低下に成功

CPO: 期初対比約51%減

- 新たな新規獲得手法(番組)の開拓
地方局とのタイアップ番組制作、放送
ご当地生放送番組内にAFCテレショップコーナーをスタート

※CPO: Cost Per Order 1件の注文(1人の顧客)を獲得するのにかった費用＝顧客獲得単価

平成24年8月期

- 前期に引き続き、**AFCとの連携強化**

新規獲得＝AFCの売上・利益アップに向けた広告・販促企画の立案、実行

- 販促活動結果のデータ分析と、その結果を踏まえた企画立案

平成23年8月期

- 漢方エキス末の製造委託準備
業務提携先の中国康縁薬業有限公司との技術交流
認証取得のための検証実施
- 吉林農業大学(中国)との共同研究
「糖尿病患者専用
の機能性食品」
の開発に着手



- OEM顧客先の商品設計及びサンプル試作 約1,400件(前期比16.6%増)

平成24年8月期

- 漢方エキス末の輸入承認取得
予定(2012年6月)
- 吉林農業大学との学術交流会
開催
- OEM顧客先への対応
賞味期限を保証する科学的根拠をどのようにサービスに生かすか(経時品質安定性の評価方法の設定)



AFC-HDアムスライフグループ今期見通し

第32期 グループ指針「結束」「挑戦」

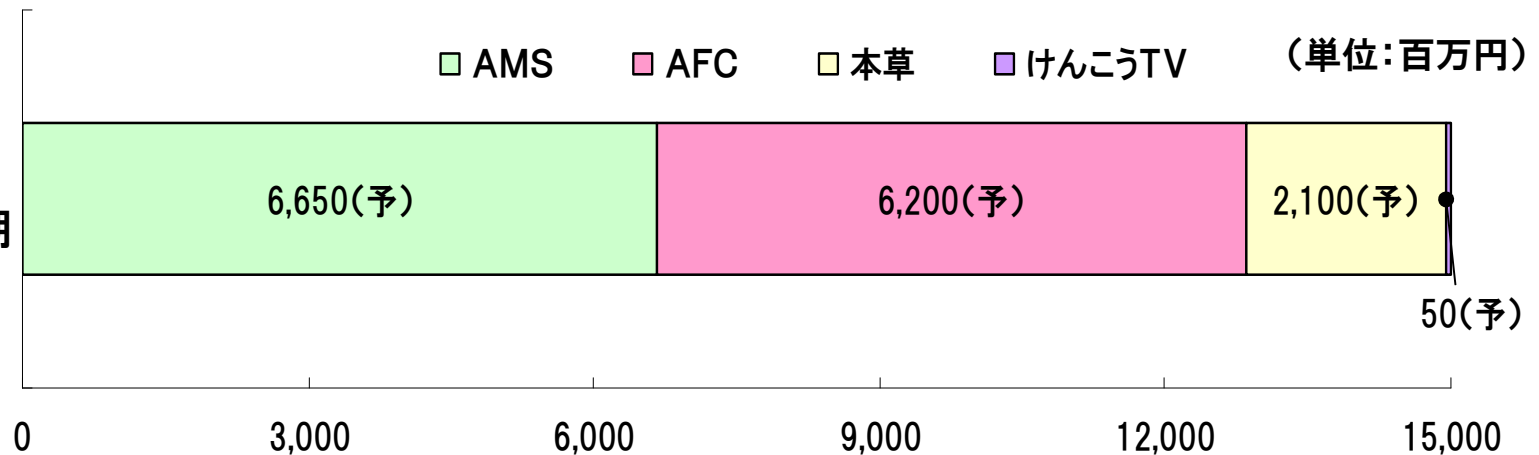


平成24年(2012年)8月期(連結)

(単位:百万円)

	(2010年) 平成22年8月期 実績	(2011年) 平成23年8月期 実績	(2012年) 平成24年8月期 通期目標	対前期 増減率
売上高	14,448	14,653	15,000	2.4%
営業利益	767	1,024	900	△12.2%
経常利益	783	996	850	△14.7%
当期純利益	195	490	500	2.0%

(2012年)
平成24年8月期
目標売上高
各社内訳





最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました



株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス

本資料に関するお問合せ

社長室

TEL : 054-281-5238

FAX : 054-281-5139

E-mail : ir-ams@ams-life.com

Home Page : <http://www.ams-life.com/>